

防災実地調査 まとめ

上 町 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）	14 件
地震への備えについて	① 非常食の準備 充分:3 概ね:3 不十分:0 なし:8 ② 家具転倒防止 充分:5 概ね:2 不十分:1 なし:6 ③ 災害伝言ダイヤル 知っている:7 知らない:7
避難場所を知っている	知っている:7 知らない:7
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:14 家財に被害有り:0 被害なし:0
訪問先が高齢者のみのお宅であった	2 件
気仙沼市防災マップを	掲示してある:1 一度見ただけ:10 全く見ていない:3

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

非常食の準備をしていない人が、準備をしている人に比べて多いので
防災意識は高くないと考えます。

○ 調査中に教えていただいたお話から

昭和8年 9m程の大津波がきた。
明治29年 27m程の津波がきた。(家が流されるほどの被害)
車に非常用の物を積んである。

○ 避難経路を実際に歩いて

避難場所から中学校まで26分12秒もかかりました。
実際に歩いていて、危険な場所などもたくさんありました。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

今まで知らなかった危険場所や、地震への備えをどのくらいの人が備えているかなどが
分かりました。 非常食の準備や、家具転倒防止などをもっとした方がいいと思いました。

防災実地調査 まとめ

川 原 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）		6 件
地震への備えについて	① 非常食の準備	充分： 概ね： <u>不十分</u> なし：
	② 家具転倒防止	充分： 概ね： <u>不十分</u> なし：
	③ 災害伝言ダイヤル	知っている： <u>知らない</u>
避難場所を知っている	<u>知っている</u>	知らない：
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り：	家財に被害有り： <u>被害なし</u>
訪問先が高齢者のみのお宅であった	1 件	
気仙沼市防災マップを	掲示してある：	<u>一度見ただけ</u> 全く見ていない：

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

非常食の準備や家具転倒の備えをしているお宅が非常に少なく、
ほとんどのお宅が備えを十分にしていないということから。

○ 調査中に教えていただいたお話から

話を聞かせてくださった中で1番多かったのは、「地震が来たらまず火を消し、戸をあける」ということだった。 その他、「おにぎりを作っておく」など。

○ 避難経路を実際に歩いて

私達が歩いて23分かかった。お年寄りや子供はもっと時間がかかることが
予想されるので、家庭で対策をしっかりしたい。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

川原は全体的に防災意識が低い。 考えなおしてみるべき。

防災実地調査 まとめ

最 知 高 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）		10 件	
地震への備えについて	① 非常食の準備	充分:3 概ね:1	不十分:3 なし:3
	② 家具転倒防止	充分:0 概ね:1	不十分:1 なし:8
	③ 災害伝言ダイヤル	知っている:4	知らない:6
避難場所を知っている	知っている:3	知らない:7	
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:1	家財に被害有り:1	被害なし:8
訪問先が高齢者のみの お宅であった	2 件		
気仙沼市防災マップを	掲示してある:1	一度見ただけ:3	全く見ていない:6

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である **4. 油断している** 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

アンケート結果から、地震への備えについて、災害伝言ダイヤルを知らないというお宅が半分以上を占めていたり、避難場所を知らないという方もたくさんいたので、全体的に防災意識が低く、油断していると思ったから。

○ 調査中に教えていただいたお話から

過去の地震などでたくさんの被害があったことを教えてもらいました。

また、50cmの津波は大丈夫と思っている家庭が多く、たとえ50cmといっても注意をしなければいけないと思いました。

○ 避難経路を実際に歩いて

避難にかかった時間は9分18秒でした。 10分以内だったとはいえ、災害時のあらゆる場面を想定し、準備していくことが大切だと思いました。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

全校を通して、地域の人々との交流を、深めることができました。

防災実地調査 まとめ

内 田 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）		4 件
地震への備えについて	① 非常食の準備	充分:1 概ね:0 不十分:0 なし:3
	② 家具転倒防止	充分:0 概ね:1 不十分:0 なし:3
	③ 災害伝言ダイヤル	知っている:1 知らない:3
避難場所を知っている	知っている:2 知らない:2	
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:1 家財に被害有り:0 被害なし:3	
訪問先が高齢者のみのお宅であった	2 件	
気仙沼市防災マップを	掲示してある:0 一度見ただけ:1 全く見ていない:3	

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している **5. このままでは×**

上の番号を選んだ理由

非常食を準備したり、家具転倒防止などをやっている家が少なく、
避難場所を知らない家があったから。

○ 調査中に教えていただいたお話から

内田は地面が平らなので、津波が来たら、全部流されてしまいます。

○ 避難経路を実際に歩いて

避難するのに、7分50秒かかりました。
せまい道が多くて、危険だと思いました。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

防災対策をしている家が少なく、驚きました。
もっと防災について意識を高めないと行けないと思いました。

防災実地調査 まとめ

杉ノ下地区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪問件数（アンケート回答件数）		10件
地震への備えについて	① 非常食の準備	充分:1 概ね:5 不十分:1 なし:3
	② 家具転倒防止	充分:1 概ね:3 不十分:0 なし:6
	③ 災害伝言ダイヤル	知っている:5 知らない:5
避難場所を知っている	知っている:9 知らない:1	
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:2 家財に被害有り:0 被害なし:8	
訪問先が高齢者のみのお宅であった	1件	
気仙沼市防災マップを	掲示してある:3 一度見ただけ:2 全く見ていない:5	

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である **3. 普通である** 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

全体的に平均だからです。

○ 調査中に教えていただいたお話から

自分たちの地区には、昔 津波がよっていたことが分かりました。

当時の三陸沖地震で、杉の下地区の家、ほとんどが流され、上町に移りすんだと聞きました。

○ 避難経路を実際に歩いて

かかった時間は約4分です。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

自分たちの地区には、かなりの危ない場所があってみんな驚きました。

防災実地調査 まとめ

向 原 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 (アンケート回答件数)	11 件
地震への備えについて	① 非常食の準備 充分:0 概ね:3 不十分:0 なし:8 ② 家具転倒防止 充分:0 概ね:4 不十分:4 なし:3 ③ 災害伝言ダイヤル 知っている:4 知らない:7
避難場所を知っている	知っている:9 知らない:2
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:5 家財に被害有り:5 被害なし:1
訪問先が高齢者のみのお宅であった	1 件
気仙沼市防災マップを	掲示してある:3 一度見ただけ:7 全く見ていない:1

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

ほとんどの家で、非常食を準備していなかったし、災害の備えをしていないし、災害伝言ダイヤルを知らない家が多かったから。

○ 調査中に教えていただいたお話から

ほとんどの家で2年前の地震と、昭和53年の宮城県沖地震では、大きい被害はなかったようです。 宮城県沖地震では、向原地区ではたくさんの家でかわらが落ちるなどの被害があったと言っていましたが、大きな被害はなかったようです。

○ 避難経路を実際に歩いて

避難にかかった時間は、約25分です。 向原地区からだと避難所まで遠く避難している間に津波におそわれるかもしれないので、もっと避難所が高く近い所だといいと思いました。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

向原地区では、きちんと災害にそなえていた家もあったが、ほとんどの家があまり防災意識が高くなかったなので、もう少し防災意識を高めてほしいと思いました。

防災実地調査 まとめ

長 磯 高 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9：00～12：00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）	11 件
地震への備えについて	① 非常食の準備 充分:2 概ね:3 不十分:1 なし:5 ② 家具転倒防止 充分:4 概ね:0 不十分:1 なし:6 ③ 災害伝言ダイヤル 知っている:6 知らない:5
避難場所を知っている	知っている:5 知らない:6
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:4 家財に被害有り:1 被害なし:6
訪問先が高齢者のみのお宅であった	3 件
気仙沼市防災マップを	掲示してある:3 一度見ただけ:5 全く見ていない:3

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している 5. このままでは×
上の番号を選んだ理由 非常食の準備や家具転倒防止をしている世帯が多いから。 避難経路を知っている人が少ないから。
○ 調査中に教えていただいたお話から
10年以内に大地震がくるんじゃないかという話。 修理に50万円もかかったという話。
○ 避難経路を実際に歩いて
避難にかかった時間 平均10分程度 道幅が3mある道が少なく、交通の便が悪かった。
○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）
防災実地調査を通して、地震の怖さが改めてわかった。 いつ来るかわからない地震なのだから、地震について関心を持ち、 対策をきちんとするべきなんじゃないかなと思った。

防災実地調査 まとめ

浜・七半沢地区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪問件数（アンケート回答件数）	19件
地震への備えについて	① 非常食の準備 充分:4 概ね:1 不十分:3 なし:11 ② 家具転倒防止 充分:3 概ね:7 不十分:1 なし:8 ③ 災害伝言ダイヤル 知っている: 知らない:
避難場所を知っている	知っている:17 知らない:2
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:3 家財に被害有り:1 被害なし:15
訪問先が高齢者のみのお宅であった	1件
気仙沼市防災マップを	掲示してある:4 一度見ただけ:10 全く見ていない:5

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である **4. 油断している** 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

調査結果から地震の被害が少なく、地震への備えが不十分で、
地震への意識が低いことが分かった。

○ 調査中に教えていただいたお話から

（チリ地震津波の時）海の水が大島までひいたという話や、波がすぐきて
たくさんの建物が壊れたなどの話が聞けて参考になった。

○ 避難経路を実際に歩いて

避難にかかった時間は、約7分でした。
道が狭く、ジャリでデコボコしていて、走りにくかった。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

浜地区は、地震による被害が少なく、地震に対する意識が低く
対策がしっかりできていなかった。

防災実地調査 まとめ

森前林地区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪問件数（アンケート回答件数）	41件
地震への備えについて	① 非常食の準備 充分:5 概ね:16 不十分:10 なし:10 ② 家具転倒防止 充分:15 概ね:14 不十分:7 なし:5 ③ 災害伝言ダイヤル 知っている:26 知らない:15
避難場所を知っている	知っている:35 知らない:6
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:28 家財に被害有り:13 被害なし:0
訪問先が高齢者のみのお宅であった	11件
気仙沼市防災マップを	掲示してある:13 一度見ただけ:21 全く見ていない:7

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である **3. 普通である** 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

防災意識が高い家庭では、非常食の準備や、家具の固定などを行っているが、油断している所もあることから、平均して普通と決定した。

○ 調査中に教えていただいたお話から

地震は起きると家財などが壊れ大変だが、常にいつ発生するか分からない不安で人々を苦しめているのだということをお話から感じた。

○ 避難経路を実際に歩いて

3分くらいかかったが、実際に地震が起きたら避難経路にある歩道橋の倒壊や、道路の混雑も考えられるので、今回の結果より時間がかかると思われる。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

今回、実際に各家庭を訪問させていただいて、地域の方々の、防災に対する意識の実態を知ることができたと共に、自分達も改めて地震について考えさせられた。
そして、近い将来必ず大きな地震が起きるという現実を受け止めて、さらに多くの地域の方が防災に対しての意識を高めてほしいと思った。

防災実地調査 まとめ

長 磯 原 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9：00～12：00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）	17 件
地震への備えについて	① 非常食の準備 充分：3 概ね：4 不十分：5 なし：5 ② 家具転倒防止 充分：4 概ね：1 不十分：5 なし：7 ③ 災害伝言ダイヤル 知っている：8 知らない：9
避難場所を知っている	知っている：13 知らない：4
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り：6 家財に被害有り：9 被害なし：2
訪問先が高齢者のみのお宅であった	1 件
気仙沼市防災マップを	掲示してある：2 一度見ただけ：14 全く見ていない：1

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

防災への意識はあるが、対策をしていない家がほとんどだったから。

○ 調査中に教えていただいたお話から

「地震は怖い」と言っていた人がほとんどだったが、なかなか備えることができない。

2年前の地震の時、双子の赤ちゃんがいて、ガスが使えず、水も無かったので、ミルクをあげることができなかったが、近所の人のおかげでミルクを飲むことができた。

○ 避難経路を実際に歩いて

避難にかかった時間は、1番遠い家で20分弱程度だった。

新たに見つかった危険箇所もあった。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

この活動を通して、地区の地震に対する意識を詳しく知ることができたし、地震に関する知識も前よりは多くなったと思う。

防災実地調査 まとめ

牧 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9:00～12:00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）		1 2 件
地震への備えについて	① 非常食の準備	充分:3 概ね:2 不十分:0 なし:7
	② 家具転倒防止	充分:2 概ね:2 不十分:2 なし:6
	③ 災害伝言ダイヤル	知っている:5 知らない:7
避難場所を知っている	知っている:4 知らない:8	
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り:9 家財に被害有り:2 被害なし:1	
訪問先が高齢者のみのお宅であった	6 件	
気仙沼市防災マップを	掲示してある:4 一度見ただけ:4 全く見ていない:4	

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

アンケートの結果から、非常食の準備や家具転倒防止をしていない家が多かった。
避難場所の確認なども少なかった。

○ 調査中に教えていただいたお話から

地震があった時すぐに避難できるように、寝床にくつを置いている。
チリ地震津波の時、辻建の辺りまで津波が来た。(1m)

○ 避難経路を実際に歩いて

25分(向洋高校から中学校まで)
私たちの歳でこのくらいなので、お年寄りや障害のある方はもっとかかると思いました。

○ 活動を通しての感想・意見(まとめたもの)

この活動を通して地震災害への意識が高まりました。
また、この活動を活かし、今後の生活に役立てたいと思いました。

防災実地調査 まとめ

岩 井 崎 地 区

調査月日：平成17年10月13日

午前9：00～12：00

○このグループの調査結果

訪 問 件 数 （アンケート回答件数）	8 件
地震への備えについて	① 非常食の準備 充分：5 概ね：0 不十分：1 なし：2 ② 家具転倒防止 充分：4 概ね：3 不十分：1 なし：0 ③ 災害伝言ダイヤル 知っている：3 知らない：5
避難場所を知っている	知っている：8 知らない：0
2年前の地震について	家屋・家財に被害有り：0 家財に被害有り：0 被害なし：8
訪問先が高齢者のみのお宅であった	0 件
気仙沼市防災マップを	掲示してある：2 一度見ただけ：2 全く見ていない：4

○ 調査結果から考える「この地域の防災意識について」

1. 非常に高い 2. 高い方である 3. 普通である 4. 油断している 5. このままでは×

上の番号を選んだ理由

訪問した方々全員が避難場所を知っていて、中には緊急時のために貯水タンクや、食べ物を備えたリュックなどを準備していたお宅もあったから。

○ 調査中に教えていただいたお話から

民宿を経営していた方々共通で「お客様の誘導が心配だ。」との意見があった。
そして、調査中に教えていただいたお話から、この地域は岩盤が固くて、3～5m掘ると岩があるため地震のゆれが少ないことが分かった。

○ 避難経路を実際に歩いて

避難場所まで、歩いてあまり時間がかからなかったけれど、避難経路にはブロックべいなどの危険が多く存在することが分かった。

○ 活動を通しての感想・意見（まとめたもの）

今回の学習を通して、地震などについて詳しく知ることができた。
今回学んだことを、これからの防災対策に活かしていきたいと思う。